

後期臨床実習

1. 目的

医療機関・福祉施設など公共空間においてビハラー僧として実践できる能力を習得する。

2. 目標

- (1) 患者・家族の抱える苦悩を知り、悲しみをともに悲しみ、喜びをともに喜び、全人的苦痛を和らげ、その人らしく最後まで生きられるように援助する。
- (2) 医療・介護の認識を深め、スタッフと連携し、チームの一員として活動する力量を高める。
- (3) み教えをわが身にいただき、自信教人信の心を大切にし、自身の宗教性を深める。
- (4) 宗教・宗派の違いを大切にし、自身の宗教を押し付けず、相手の宗教性を大切にした寛容性を身につける。

3. 実習方法と概要

施設担当者等の指導のもとに、支援対象者への理解を深め、援助のあり方を理解し支援方法について学ぶ。また自らの実践内容について評価考察する。

○実習場所：あそかビハラー病院 ビハラー本願寺
 三菱京都病院 常清の里 その他

4. 実習内容・プログラム

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| (1) オリエンテーション | (2) 初期研修 | (3) 高齢者のケア |
| (4) スタッフとの連携 | (5) 情報記録 | (6) スピリチュアルケア |
| (7) 宗教的ケア | (8) 医療的認識に関する事項 | |
| (9) 悲歎のケア | | |

※実習記録を提出し、振り返りを行う。また、適宜、会話記録を提出し会話記録検討会を行う。

以 上